

**製品名: BNIP-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07616**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	36kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BNIP2
別名	BNIP2; NIP2; BCL2/adenovirus E1B 19 kDa protein-interacting protein 2
遺伝子 ID	663.0
SwissProt ID	Q12982
免疫原	抗血清はヒト BNIP-2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 73-122

**背景**

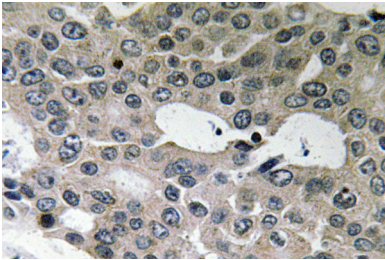
この遺伝子は、BCL2/アデノウイルス E1B 19 kD 相互作用タンパク質 (BNIP) ファミリーのメンバーです。ウイルス誘導性細胞死から細胞を保護する E1B 19 kDa タンパク質と相互作用します。コードされているタンパク質は、別のアポトーシス抑制因子である

BCL2 の E1B 19 kDa 類似配列とも相互作用します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016年3月]機能: 細胞死の抑制に関与する。BCL-2 およびアデノウイルス E1B 19 kDa タンパク質と相互作用する。類似性: 1 つの CRAL-TRIO ドメインを含む。細胞内局在: 核膜領域およびその他の細胞質構造に局在する。

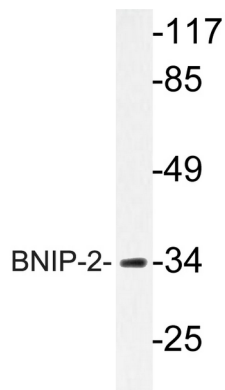
## 研究分野

-

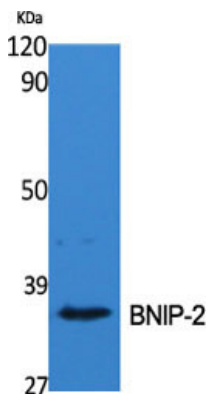
## 画像データ



パラフィン包埋ヒト乳癌組織における BNIP-2 抗体の免疫組織化学分析。



BNIP-2 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



BNIP-2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

BNIP-2 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析

